

事前評価

次年度の予算査定後の研究テーマ確定の後、研究計画書（案）を作成し、その研究計画書（案）を、外部研究評価委員会において、事前評価を行い、研究計画書を決定する。

中間評価・事後評価

前年度に実施した研究テーマについて、研究結果報告書を作成し、それを外部研究評価委員会において、継続研究のものは、中間評価を、終了研究のものは、事後評価を行う。それらの結果については、東京都環境局に報告するとともに、研究所年報に掲載する。

評価の視点は、表のとおりである。

種 類	時 期	視 点
事前評価	新規の研究等について、研究計画の確定前に実施し、内容・方法の適正化に活用する。	○内容・方法の妥当性 ・目標は適切かつ具体的に挙げられているか。 ・手段・方法は適切であるか。 ・実施体制は妥当であるか。 ・実施時期等は妥当であるか。
中間評価	実施中の研究等について、当該年度の結果がまとまり次第実施し、内容・方法の変更及び継続の可否の判断に活用する。	○妥当性 ・情勢の変化に対応した計画変更等の必要はないか。 ・内容・方法は適切であり、見直す必要はないか。 ○進捗度 ・計画に従って進捗しているか。 ・目標達成の可能性はあるか。
事後評価	研究期間終了後、研究結果がまとまり次第実施し、成果の普及・活用及び以降の研究等企画立案に活用する。	○達成度 ・目標はどの程度達成されたか。 ○発展性 ・背景・目的に照らして、発展の可能性はあるか。 ○有効性 ・直接的成果や波及効果はどうか。

外部研究評価は、A、B、C、Dの4段階評価及び記述により行う。

	事前評価	中間評価	事後評価
評 価	A：優れている B：普通 C：改善の余地あり D：抜本的見直し	A：優れている B：普通 C：改善の余地あり D：計画変更ないし中止	A：優れている B：普通 C：やや劣っている D：劣っている